



みんなで取り組む
千葉の教育

アイムポッシブル

I'mPOSSIBLE アワード 県内2校が受賞

東京 2020 パラリンピック閉会式において、共生社会実現につながるパラリンピック教育の実践を行った学校に対して、I'mPOSSIBLE アワード*の表彰が行われました。開催国最優秀賞を木更津市立清見台小学校が、開催国特別賞を県立東金特別支援学校が受賞しました。

*I'mPOSSIBLE アワード：パラリンピック・ムーブメントを通して、インクルーシブな世界の実現に多大な功績を収めた学校とパラリンピアンに贈呈される賞。この賞は、国際パラリンピック委員会が設立し、日本財団パラリンピックサポートセンターが支援を行っている。なお、『I'mPOSSIBLE』には、「不可能 (Impossible) だと思えたことも、ちょっと考えて工夫すればできるようになる (I'm possible)」という、パラリンピックの選手たちが体現するメッセージが込められている。



木更津市立清見台小学校の取り組み

バリアフリーについてより具体的・現実的な解決方法を考えるためパラリンピアンと意見交換をしました。



県立東金特別支援学校の取り組み

「オリ・パラ」推進隊は小中学生にボッチャのアドバイスをするなどパラスポーツの楽しさを伝えました。



両校は9月13日(月)にウェブ会議システムを活用して熊谷知事と富塚教育長に表敬訪問を行いました。



木更津市立清見台小学校児童とのオンライン懇談



県立東金特別支援学校生徒とのオンライン懇談

国際パラリンピック委員会公認教材

『I'mPOSSIBLE (アイムポッシブル)』を活用しよう!



パラリンピックの国際的発展を担うアギトス財団が開発した、共生社会への気づきを子どもたちに促す教材です。

座学と実技を含む全 15 授業分のユニットで構成され、小学生版、中学生・高校生版の2タイプの教材パッケージが昨年度までに各学校に送付済みです (一部 web のみ公開)。



記念のシルバープレートと大会マスコットのぬいぐるみ

お問い合わせ先：教育庁企画管理部教育政策課教育立県推進室 043-223-4177